

第 53 回東北生理談話会

会 期：令和 3 年 11 月 20 日（土）

会 場：Web 開催（Zoom）

当番幹事：弘前大学大学院医学研究科・分子輸送学講座 山田勝也，

弘前大学保健学研究科・総合リハビリテーション科学領域 山田順子

演 題 数：特別講演 1 題，一般演題 13 題

参加人数：38 名

日本生理学会東北地方大会（第 53 回東北生理談話会）を上記日程で Zoom 開催致しました。一般演題 13 題のほか，今年は第 46 回日本神経科学大会（2023 年）大会長を務める福島県立医科大学小林和人教授に特別講演をお願い致しました。一般演題は 1 演題当たりの講演時間を最大 15 分以内，質疑応答を含めて合計 25 分とし，セッション間にも時間をとり，質疑応答の時間を十分にとれるようにしました。幸いディスカッションも活発で，十分に質疑応答の場を設けることができましたようです。小林先生にはライフワークとも言えるお仕事をまとめてお聞きする素晴らしい機会を頂戴しました。

また今回は，試験的にお昼休みや各セッションの合間に，懇親会ソフトウェア Gather を用いた「談話の場」を設けました。メイン会場でも話し合いが可能ですが，個別のお話や演者への質問などが可能な方法で，一定人数を超える場合，ならびに同一の URL を利用する場合には費用面が検討課題ですが，今後もオンライン開催の際には有効活用できるとよいと感じました。

なお次回の当番幹事は，岩手医科大学生理学講座統合生理学分野（中階克己教授）にお引き受けいただきました。今回の経験をお伝えし，よりよい談話会の形を模索する上で役立てていただければ幸いです。

地方会抄録はウェブページ <http://physiology.jp/nisseishi/> に掲載させていただくことになりました。（Pt 2）p. 35～p. 38 をご覧ください。